

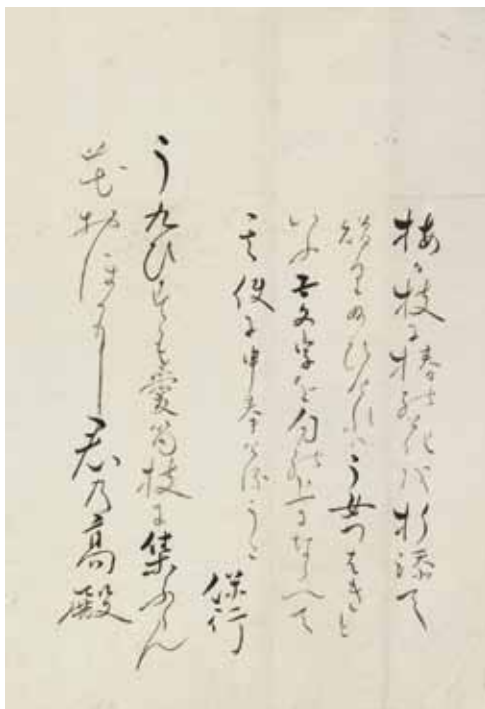
第36回
企画展

収蔵品から四季を探そう

令和 3.4.24 (土) ▶ 6.13 (日)



今井景樹筆桜図掛幅



和歌



納涼会 (亀山駅前)



蚊取り噴霧器

日本には四季があり、私たち日本人の生活スタイルには、いろいろな場面で季節が取り入れられてきました。例えば、俳句には、季語を必ず入れますし、春には花見やひな祭り、秋には紅葉狩りを楽しまします。また、夏が来れば衣替えをし、今は少なくなりましたが建具を入れ替えるのもその一つといえるでしょう。

そして、これまでに集まってきた収蔵資料も、四季を意識して見つめ直せば、そのデザインや用途、記された内容などから季節を感じることもできる資料が多くあります。そこで、この企画展では、「四季」という視点からみた当館が収蔵する様々な資料の魅力を紹介します。



田舟



鍾馗画幀